



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ティーガイア 上場取引所 東
 コード番号 3738 URL <http://www.t-gaia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹岡 哲朗
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 俣野 通宏 TEL 03-6409-1010
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	126,959	△24.8	2,531	△28.5	2,531	△28.1	1,328	△33.6
26年3月期第1四半期	168,781	0.6	3,541	77.6	3,522	80.2	2,001	91.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,327百万円 (△33.8%) 26年3月期第1四半期 2,006百万円 (93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.32	—
26年3月期第1四半期	25.34	25.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	127,160	23,892	18.7
26年3月期	199,631	23,713	11.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 23,760百万円 26年3月期 23,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	720,000	1.8	13,000	1.9	12,800	1.1	7,250	6.1	105.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	79,074,000株	26年3月期	79,005,600株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	10,300,336株	26年3月期	10,300,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	68,721,000株	26年3月期1Q	78,956,132株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4～6月)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費の落ち込みが見られたものの、その影響は次第に和らぎ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、原油・原材料価格の高騰や新興国経済の成長鈍化が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、前期末の駆け込み需要の反動等の影響が大きく、販売は低調に推移いたしました。一方、業界全体には第2四半期以降に本格導入される新料金プランが通信事業者より順次発表されてきており、足元の販売市場は回復傾向にあります。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は101万台となり、スマートフォンの販売比率は7割弱で推移いたしました。

モバイル事業においては、端末販売減に伴い手数料収入は減少したものの、スマートフォンやタブレットの販売に絡めた関連商材・サービス等の販売が増加したことに加え、全社的な構造改革を推進し、今後の本格的な業務・コスト効率化実現に向けて基礎固めを図りました。

ソリューション事業においては、法人顧客向け端末販売に伴う収益は前年同期並みを確保いたしました。固定回線系商材の販売が低調に推移いたしました。

決済サービス事業他においては、EC(電子商取引)やSNS(Social Networking Service)上での決済に利用できるPIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が伸び悩んだものの、ギフトカードの販売は堅調に推移いたしました。また、海外事業を積極的に展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,269億59百万円(前年同期比24.8%減)、営業利益25億31百万円(同28.5%減)、経常利益25億31百万円(同28.1%減)、四半期純利益13億28百万円(同33.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モバイル事業)

当第1四半期連結累計期間につきましては、順次新料金プランが発表されたものの導入過渡期にあり、また前年同期に実施された通信事業者による積極的な販売施策が展開されず、前期末の駆け込み需要の反動等により販売が低調に推移した結果、売上高は988億90百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

当社グループは、全社的な構造改革を推進することで、より効率的な運営体制の構築を目指し、徐々に効果を見せ始めております。利益面においては、前期より取り組んでいる販路の収益改善に加え、お客様のスマートフォンライフ充実のため、スマートデバイス向けアクセサリー等の関連商材やサービスの提案を強化いたしました。端末販売減に伴う手数料収入の減少を補うことができず、営業利益は17億44百万円(同26.7%減)となりました。

(ソリューション事業)

当第1四半期連結累計期間につきましては、法人顧客向け端末販売において、前年同期のような大型案件の受注がなかったこともあり販売台数は減少したものの、スマートデバイスおよびキittingサービス等の各種サポートサービスの販売が堅調に推移したことにより、前年同期並みの収益を確保いたしました。固定回線系商材の販売については、モバイルブロードバンドとの競争激化により低調に推移いたしました。その結果、売上高は67億70百万円(前年同期比14.7%減)、営業利益は7億2百万円(同10.8%減)となりました。

(決済サービス事業他)

当第1四半期連結累計期間につきましては、券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成が変化してきており、売上高は212億98百万円(前年同期比25.0%減)となりました。加えて、中国やシンガポールでの海外事業の展開に積極的に費用を投じたことにより、営業利益は84百万円(同77.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ39.5%減少し、1,109億47百万円となりました。これは主に売掛金が499億82百万円、商品が101億78百万円、未収入金が106億2百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、162億12百万円となりました。これは主にのれんが3億73百万円減少し、投資有価証券が2億8百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ36.3%減少し、1,271億60百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ48.6%減少し、840億70百万円となりました。これは主に買掛金が461億32百万円、短期借入金が110億46百万円、未払金が114億68百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ54.2%増加し、191億96百万円となりました。これは主に長期借入金が67億32百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ41.3%減少し、1,032億67百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、238億92百万円となりました。これは主に四半期純利益13億28百万円による利益剰余金の増加、剰余金の配当12億2百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当第1四半期連結累計期間業績の、平成26年5月15日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高17.6%、営業利益19.5%、経常利益19.8%、四半期純利益18.3%で推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,490	2,302
売掛金	97,706	47,724
商品	45,146	34,967
貯蔵品	131	107
未収入金	34,874	24,271
その他	1,933	1,583
貸倒引当金	△16	△9
流動資産合計	183,266	110,947
固定資産		
有形固定資産	3,152	3,095
無形固定資産		
のれん	5,365	4,992
その他	973	1,017
無形固定資産合計	6,339	6,010
投資その他の資産		
敷金	4,319	4,273
その他	2,561	2,841
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	6,872	7,107
固定資産合計	16,364	16,212
資産合計	199,631	127,160
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,187	36,054
短期借入金	28,566	17,520
1年内返済予定の長期借入金	12,100	4,704
未払金	35,120	23,651
未払法人税等	3,286	552
賞与引当金	1,427	590
短期解約損失引当金	218	172
その他	560	824
流動負債合計	163,466	84,070
固定負債		
長期借入金	10,268	17,000
退職給付に係る負債	389	386
資産除去債務	1,178	1,203
その他	614	606
固定負債合計	12,450	19,196
負債合計	175,917	103,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,127	3,154
資本剰余金	5,613	5,640
利益剰余金	23,478	23,604
自己株式	△8,755	△8,755
株主資本合計	23,464	23,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	62
為替換算調整勘定	73	54
その他の包括利益累計額合計	130	116
少数株主持分	119	132
純資産合計	23,713	23,892
負債純資産合計	199,631	127,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	168,781	126,959
売上原価	153,188	112,780
売上総利益	15,592	14,179
販売費及び一般管理費	12,051	11,647
営業利益	3,541	2,531
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	3
受取保険料	11	17
損害賠償金収入	—	23
その他	24	13
営業外収益合計	38	58
営業外費用		
支払利息	52	53
その他	5	4
営業外費用合計	58	58
経常利益	3,522	2,531
特別利益		
固定資産売却益	0	0
ゴルフ会員権売却益	—	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	2	8
投資有価証券評価損	24	—
特別損失合計	27	8
税金等調整前四半期純利益	3,494	2,529
法人税、住民税及び事業税	993	847
法人税等調整額	500	340
法人税等合計	1,493	1,188
少数株主損益調整前四半期純利益	2,001	1,341
少数株主利益	—	13
四半期純利益	2,001	1,328

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,001	1,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	5
為替換算調整勘定	11	△18
その他の包括利益合計	5	△13
四半期包括利益	2,006	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,006	1,314
少数株主に係る四半期包括利益	—	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	132,461	7,938	28,381	168,781
セグメント利益 (営業利益)	2,380	786	374	3,541

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	98,890	6,770	21,298	126,959
セグメント利益 (営業利益)	1,744	702	84	2,531

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。